



士別翔雲高校だより

学校通信 第152号 令和4年7月22日(金)発行 校訓「一步前へ」

【巻頭言】

「籬（たが）の役目」

北海道士別翔雲高等学校長 北村 京一

こんにちは、士別翔雲高校は高体連地区・全道大会、高野連夏の地区大会・学校祭等が無事終了しました。これから、各自生徒達は、それぞれの学習・部活動など新しい目標を設定し、その目標を達成するために努力を続けていきます。保護者様におかれましては、ご家庭においても、お子様の心の動きを観察され、時機を得た助言や叱咤激励をお願いいたします。

さて、以前に「しかられない子供たちの不幸」という記事を読んだことがあります。とても考えさせられた内容でしたので、ここでその一部をご紹介しますと思います。

— 駅の通路に高校生たちが座っている。通行する大人は顔をしかめても注意はしない。せいぜい近くの学校に苦情の電話をかけるだけである。「立ちなさい」と声をかけてみる。すぐには立ち上がらない場合が多い。「皆が迷惑している。ここは座る場所じゃないよ」と重ねて注意する。するとようやくノロノロと動き始める。これが普通である。意識的に反抗しているのではないと、私は思う。しかられた経験に乏しいので対応の仕方がわからないのではないだろうか。子供は本来素晴らしい存在だから、必要なのはしかるのではなく内面の理解だ、という教育論が日本でも主流になった。ここに大きな落とし穴があった。日本では、子供が成長するに従って厳しい社会規範を課してきた。ところが、その多くは社会の変化によって姿を消した。日本の子供は注意され、しかられる機会を失ってしまったのだ。誰にもしかられない日本の子供たちは本当に幸せなのだろうか。—

私たち大人は、日頃の子供の様子を「見る」ことによって心の変化を推し量ることがあります。幼少期と高校生期では当然「みる」の質が違ってきます。今、大人に求められている「みる」は、特に念を入れて「観る」ということです。観察、観点という語句にあるように様々な角度から大人としての素地が確立しているか、社会の一員としての価値観が備わっているかなど客観的かつ正確に判断し意見や助言をしてあげること、「観た」判断を毅然と子供たちに伝えていくことが、私たち大人の責任ではないでしょうか。

「おけ」や「たる」に使われる籬をご存じだと思います。学校・家庭・地域の3本の籬の役目は大きいものです。どれか1本の籬が緩んでも十分な役目は果たせません。大事なときに、しっかりと籬を締めてやるのが大切です。

子供たちの豊かな人間性を育てるため、士別翔雲高校は全力で教育活動に取り組んでおります。保護者や地域の皆様のご協力をお願いいたします。

夏の高校野球

2試合、24得点の猛攻

惜しくも北大会出場は逃す

7月1日(金)～3日(日)、本校野球部が、稚内市大沼球場で行われた、夏の高校野球名寄支部予選に出場しました。結果は次のとおりです。

【準決勝】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
翔雲	6	0	0	0	1	0	0	0	13	20
稚内	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2

【決勝】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
翔雲	0	0	0	2	1	1	0	0	0	4
大谷	0	0	0	0	1	0	3	0	1×	5

1回戦をシードされた翔雲は、準決勝からの登場。三上選手(3B)の三塁打を含む15安打で、20点をたたき出し、対戦校である稚内を寄せ付けず圧勝。決勝の稚内大谷戦では、コールドで敗れた春の雪辱を果たすべく、地道に得点を重ね、6回を終えるまでは4-1と先行。7回裏に同点に追いつかれ、残念ながら9回サヨナラ負けという結果にはなってしまいましたが、随所に攻守の好プレーがみられ、チーム力の向上がみてとれました。主戦高貝(3B)が「気合を入れて練習に打ち込み、チームは強くなって今大会に臨んだ」と述べた通りでした。

監督の渡邊教諭は、「春から大きく成長したチームでした。『甲子園で校歌を』という目標は後輩たちに託されましたが、甲子園の心はつかんでくれた3年生だったと思います。たくさんの保護者の方々、地域の方々に応援していただいたこと、心より感謝します。」と、大会を振り返りました。



決勝戦を好投した投手山口(3A)

高文連音楽発表会

のびのびと演奏 合同演奏に刺激

6月29日(水)、本校吹奏楽局が、名寄市民文化センターEN-RAY HALLで行われた、道北支部高文連音楽発表会に参加しました。本校は、昨年度全道大会に出場したため、今年度は全道出場権のかからない発表会部門での参加となりましたが、のびのびと自分たちの演奏をすることができました。また、参加した他校の演奏を聴くことができたり、3年ぶりに名寄高校・浜頓別高校との3校合同での演奏ができたりと、多くの刺激を受けてことができました。

今回の大会を基に、次に控えている7月31日(日)の吹奏楽コンクール支部大会に向けて、今後も練習に励んでいきます。

岡田莉璃局長(3C)は、「発表会や翔雲祭では、観客や他校の生徒の反応に刺激を受けながら、楽しく演奏することができました。しかし、コンクールはそうはいきません。全道大会出場権を獲得し、全道大会で銅以外の色の賞をとれるように、力を尽くします。」と、意気込みを語りました。



高文連道北支部音楽発表会

令和4年度翔雲祭



『天下無双』の3日間 総合優勝は赤雲

7月7日(木)～9日(土)の3日間、令和4年度の翔雲祭を開催しました。相変わらずのコロナ禍中で、制限も幾分か残っていましたが、少しずつ平常を取り戻すような企画となりました。生徒会執行部から示された今年のテーマは「アニメーションの世界」。各雲隊はそれぞれ、このテーマに沿って行灯、クラスパビリオン、雲隊旗、クラス発表を創り上げていきました。6月9日(木)の結団式で、各雲隊長が揃って「楽しむ、そして勝負」と気合を入れたように、勝利を目指しながらもギスギスした雰囲気もなく、心地良い疲れを感じつつ楽しげに過ごし、翔雲祭を迎えることとなりました。このように創り上げられた翔雲祭は、まさにメインテーマのとおり『天下無双』と呼ぶにふさわしいものでした。各部門並びに総合の結果は右のとおりです。

	赤雲 (1C・2A・3D)	黒雲 (1D・2B・3B)	緑雲 (1A・2D・3A)	青雲 (1B・2C・3C)
行灯 1	30	50	40	30
行灯 2	50	40	30	30
クラスパビリオン1	40	30	30	50
クラスパビリオン2	30	30	50	40
雲隊旗	100	80	60	60
クラス発表1年	60	100	60	80
クラス発表2年	100	60	80	60
クラス発表3年	60	60	100	80
体育祭	100	60	60	80
総合	570 1位	510 2位	510 2位	510 2位

優勝した、斎藤丈流赤雲隊長(3D)は、「最高の気分です。僕のリーダーシップにみんながついてきてくれて、各部門がしっかり動いてくれました。それがなければ、この結果はありません。」と、歓喜の表情を見せました。

翔雲祭2日目・3日目には、上野PTA会長はじめ、役員の皆様によるドリンク販売も行われました。また、3日目の3年生クラス発表の時間には、のべ113名の3年生の保護者の方にご来場いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

この通信は皆様のご厚意により、地域の皆様へ無料にて配布させていただいております。
 阿部新聞店様、道新平中販売所様、鈴木販売所様、阿部新聞店(上士別)様
 <発行者> 北海道士別翔雲高等学校 担当: 総務部 <電話> 0165-23-2908 <FAX> 0165-23-2911
 <ホームページ> <http://www.s-shoun.hokkaido-c.ed.jp/>
 <E-mail> s-shoun@hokkaido-c.ed.jp
※上記のホームページでカラー版をご覧ください。



4年ぶりに行灯行列復活

今年の特筆すべき点として、伝統ある行灯行列を平成30年度以来4年ぶりに実施できたということが挙げられます。準備期間中には、経年劣化などによって土台用の木材が次から次へと折れていくというアクシデントにも見舞われました。それを克服し、限られた時間の中で「アニメーションの世界」というテーマに沿って生徒たちが創り上げた行灯が、7月7日(木)の夕刻、市内を練り歩きました。沿道には多くの市民の方が集まり、行列の様子を見守っていただきました。ありがとうございました。



青雲



赤雲



緑雲



黒雲

今年の特筆すべき点として、伝統ある行灯行列を平成30年度以来4年ぶりに実施できた

全国大会に出場してきます



8月1日(月)～3日(水)に東京都で開催される全国高等学校総合文化祭に新聞局が、8月4日(木)～8日(月)に愛媛県で開催されるインターハイにウエトリフティング部の3選手(大崎柊哉さん<3D>、三上カ丸さん<2D>、中川賢信さん<1A>)が出場します。とくに、ウエリフ部は、翔雲高校として一昨年、昨年に続く全国3連覇への期待がかかります。応援よろしくをお願いします。

8月の行事予定

- 10日(水)・12日(金)・15日(月) 学校閉庁日
- 14日(日) 3年全統共通テスト模試②
- 15日(月) 授業料・諸納金口座振替日
- 17日(水) 全統模試、身だしなみ指導、校明けテスト、1・2年GTECアセスメント
- 18日(木) メディアリテラシー講話
- 20日(土)・21日(日) 当番校業務(新人戦陸上)
- 20日(土) 3年全統記述模試②、3年道看模試③、3年公務員模試⑥
- 23日(火) 考査1週間前、図書館バス、学校説明会
- 30日(火)～2日(金) 前期期末考査